



# くわた恭子

http://www2.ocn.ne.jp/~kyoko/

## 通信

発行 H19年1月1日  
発行者 広島市議会議員  
くわた 恭子  
事務所 〒731-5153  
佐伯区河内南2-30-2  
TEL929-2930 FAX929-2928  
OPEN 9:00~12:00/15:00~18:00



地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。広島市議会議員のくわた恭子です。いつも通信を読んでいただきましてありがとうございます。また、くわた恭子の活動にご理解とご協力、そしてご支援をいただきますこと重ねてお礼申し上げます。昨年は皆様にとりどのような年だったでしょうか。談話による知事の逮捕や、財政破綻した7張市の話など、ネット上の祝金などのように使われているのか、本当にしっかり関心を持って自治体の運営を見ていかなければならない。そんなことを感じながら年末にも多いと思います。これから自治体の財政運営は厳しいと見えます。税金を適正かつ有効に使うような行政運営が必要で

## 市税収入の半分以上が人件費に消えているのが現実

12月議会は、いつも給与の議案が出されます。その1は、市長の退職金減額、でも、これは最終的に撤回されました。

6月議会で、市長（助役・収入役を含む）の退職金4375万円について、財政状況が厳しい中、減額する気はないか？また市長の任期は4年（48ヶ月）なのに、退職手当は49ヶ月で算定することになっているのはおかしい、見直してはどうかの指摘をうけ、今回、49ヶ月を改め、48ヶ月に、金額にして782,000円減額する条例案が提案されました。しかし、本来の議論は浮世離れした高額な退職金なので見直してはという指摘。ここには当局は手をつけていません。議会からさらに、算出方法に指摘がされ、最終的に議案は撤回されました。この4年間で議案の撤回は初めてです。

広島市長の退職手当の算出方法 → 他の政令市には、在職年数は入っていない、15政令市中、広島市だけです

$$\frac{\text{在職年数}}{100} \times \frac{100}{100} + \frac{\text{在職月数}}{100} \times \frac{60}{100} \times \frac{\text{給与月額}}{131\text{万円}} = 42,968,000\text{円} \rightarrow \text{4年間の報酬総額 } 1\text{億}3655\text{万}5448\text{円}$$

本来、市長の退職金に関するものは、指摘を受けるまでも無く、自らどうするべきか考えるべきものと思う。選挙もない助役の退職金が2436万円、収入役も1656万円というのは、さらにおかしいと思う。

## その2は、職員給与削減の緩和を行う議案 議会は、職員給与に関する議案には、反対しない！

しかし 私は 3年連続して職員給与の議案には反対しました。

財政非常事態宣言を受け、平成15年の12月議会で、一般職までの給与の削減を平成16年1月～平成19年1月まで4年間行う。これを今回、一律1.49%、市長、助役、収入役を除く全職員を緩和する。 → 予定通り削減すれば6億円捻出できる

- 1.49%緩和する理由は・・・
- ・4年間の削減目標120億円を上回り150億円削減できるので
- ・人事委員勧告を尊重し、早く削減を止めなければならない

**職員給与の議案は否決されたことが無い！**  
どうして、この議案が大差で可決されるの？ 反対したのは6人くらい・・・絶対におかしい「職員をいじめてどうする」と先輩議員が言う。いじめているわけではない。人件費は現在858億円。この金額が減ってきているわけではない。委託費に含まれている人件費を洗い出せば、軽く1000億円を超える。一方市税収入は2000億円と下回っているのが現実。

何を考えているんだと言いたくなる様な理由・・・  
この30億円上回る理由は、当初の削減項目には無い。職員互助会の助成率の引き下げ、通勤手当の6割増額など、議会から指摘された削減しなかったものや、給与のマイナス勧告などと拾い集めた数字であり人件費総額は減っていない。財政非常事態宣言は解除されたわけではない。この緩和をどうにか市民に納得

するでしょう。また「人事委員勧告を尊重する」本当にそう考えているのなら、初めから削減しないといけない！ 人事委員会の意見は市内4200箇所ある事業所の中の中心の一部152箇所の事業所と、市職員の給与と比較しての意見。民間の実態とはかけ離れた意見です。民間の平均給与は436万8千円、市職員は1.7倍の740万円。

## かつて職員15%が遅刻していた！…市の勤務管理はどうなっているのか？

今回の一般質問で、職員の遅刻について質問しました。答弁は・・・秋葉市長が就任する前H10年度に本庁舎で5日間行った出勤状況調査で、最も遅刻者の多い日は207人で、本庁舎職員数1460人に対する遅刻率は14.2%、5日間の平均は8.5%でした。が、現在は服務管理委員会を通じ、繰り返し指導しているため本年6月の調査では、0.1%、12月の調査では0.2%。就業開始時間に間に合わない場合は、年次有給休暇をとるよう徹底指導！遅刻者の給与の減額処分や懲戒処分を行った事例は、広島市にはいままでない…人事。

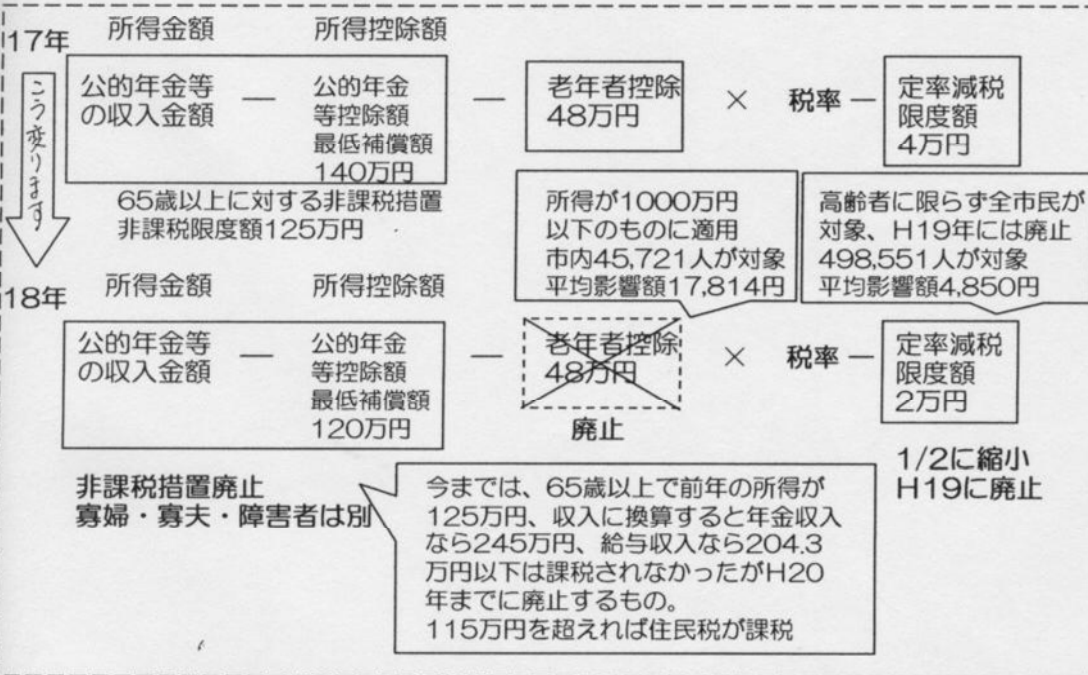
なんと面白い答弁・・・207人が遅刻していた！時も遅刻して又かきとて入は0人。全員が年次有給休暇の申請書と事前に行っていたのか？勤務の管理はしていないと言っていると思う。そもそも年次有給休暇とどう徹底指導・・・とは、本来年次有給休暇の申請は後からでもできるのか？おかしいです。質問に際し1/30~1/7 出退勤調査を5日間行った8:30~8:45に本庁舎玄関に入った職員と思われ入った人数(庁舎に駆け込んだ人)1日平均63人。12月調査したのと東玄関は見えない。普通、遅刻者は出勤簿で確認できるが、市は玄関で数えないと記録がない。遅刻記録0。年次有給も不明。今秋、時間外手当の不正支給が発覚～報道されたが氷山の一角であろう。勤務は職員の基本。これを守れないのに不発給対策、縦横矯正もない

# 平成18年度は税制改正の年、現役世代にも高齢者にも負担が増えました。

高齢者優遇税制の見直しを受け、平成18年度から適用された税制改正は、65歳以上の年金生活者の課税が強化されました。2年間の経過措置はあるものの、前年と年収が同じでも、控除が減った分所得増とみなされ国保料や介護保険料がアップする。私の事務所にも、今後の生活に不安を抱くお年寄りからののがきが届いた。広島市の場合、介護保険料の値上げが、1年前倒しされたため、税制改正による苦情や相談が窓口に殺到するといった状況には無かったと聞いている。しかし、間違いなく高齢者の負担は増えており、今後もさらに増加する事は予想される。経済的に恵まれた高齢者は確かに存在するが、国民基礎調査では、高齢者の平均所得は減少傾向、約6割は公的年金だけで暮らし、実態は約半数が所得250万円未満。



## 高齢者にかかる個人市民税の改正（65歳以上/年金収入のみ/単身）広島市の65歳以上の人口約20万人



### 税制改正による国民健康保険と介護保険の負担

年間収入	国保	介護
80万円	12,114円 13,085円	43,074円 34,460円
180万円	12,114円 21,645円 (43454円)	43,074円 50732円 (66047円)
260万円	40,381円 104,822円 (160462円)	43,074円 71,790円

上からH17年、H18年 ( )の金額は経過措置(激変緩和)前の金額

年金収入260万円の世帯は今までより2.5倍の負担となる

税制改正は国の改正。広島市では、激変緩和を行っているが、税の仕組みそのものを変えるとはおぼろしいです。しかし、黙って何も言わない「負担が大きい」とも争いに出ることも大切な行動の一つではないかと。また、国民・市民に負担を課しているのは、税金の無駄遣いがあるからではないかと。採算への不安を持つ高齢者は、少しでも働いて手に現金という方が増えていく。いかに高齢者に安住して老後と向き合っていくか、もとを正せば、就業支援が必要で。

### 山県郡西部衛生組合を脱退

湯来町のゴミ収集が、やっと広島市と同じになります。



湯来町と合併してからのH17.4/25。LAL.ゴミに関しては、合併できていないので、旧湯来町のゴミ処理は、単独では難しいので、安芸太田町と北広島町とで、組合を作り、共同で処理しています。この12議会、脱退の議案が三町で提案可決。4月からは、無料のゴミ袋を出し取り収集することになります。LAL. ために、脱退を勧められてはいませんが、右の金額を負担し脱退し、いろいろ考え方はあると思うけど、同じ広島市民のたから同じ条件でというのが本来と思う。

**脱退の主旨**  
広島市と湯来町の合併協定書に掲げている通り、ゴミ・し尿の処理体制を本市に統一するため

**精算金**  
5億1,476万9千円  
H19年～H27年まで分割して支払う

組合の中で、湯来町のゴミの割合は約4割、脱退すれば、組合は過大な施設を運営することになります。施設建設費の残金と維持管理費を耐用年数のH27年まで負担することになりました。

平成19年の統一地方選挙は4/8 トリプル選挙！  
市長選挙+県議会議員選挙+市議会議員選挙

### お知らせ

くわた恭子を育てる会 事務所開きを行います  
河内南に事務所を構えてちょうど、4年になりました。次の4年に向けての一步を踏み出します。  
平成19年1月20日(土)  
時間 10:00～  
場所 河内南2-30-2

ドックパークに学ぶ 動物管理センターのこれから  
H17.6/21に広島市が、産園を確認してから、先日、愛護団体の代表にのり、H18.4/22.この1年半の間、約500頭の犬達とめぐり、様々な人間が、右往左往。愛護団体の問題も、ボランティアの問題も、地所所有者の問題も、現実にある。今回の議会では、この事と教訓に、今後管理センターのあり方について質問した。

Q1 県警・西署が虐待の疑いで家宅捜査に入っているが、新たな虐待の事実は無いのか  
A 新たな虐待の事実は無い (餌代の領収書など調べての答弁)

Q2 当初行政の対応のまずさから、愛護団体に主導権をとられた感が、有るが、その後何も指導しなかったのか、ボランティアなら何でも良いというものではないと思うが...

Q3 ドックパークの件ではインターネットの速さ、広がりを感じた。センターで処分される犬・ネコは年間2,000匹以上、市HPに写真を掲載し譲渡先の拡大を図るべきでは...  
A 現在は写真は載せていない今後、写真の掲載も検討する

A 通常の指導はしていた。獣医に見てもらった金を補助してほしいと要望されたので、収支を報告した上で足りない部分を検討するとして報告は無い。

今回の件と教訓に、職員の内情、連携とどうボランティア団体の研究。そして、又、分り、動物の課の度、拡大、など、やることは様々ある。広島市の犬の登録数は42500頭、毎年、2000頭ずつ増えている。しかし、仕事としてほしい!

皆様のご意見をお聞かせ下さい...